

毎日を 木と暮らす

兵庫県の杉と桧をつかって、一軒の家が出来上がりました。
ここから長い時間、木の家は呼吸をし続けます。

一見するとシンプルな長方形の平面プランですが、室内には
より愉しく、より美しく暮らす工夫があります。
そのひとつが、無垢の木でつくったキッチンです。
必要な設備、調味料の容器が入るための寸法に合わせてつくる
ため、余分な施工や材料によるコストが抑えられます。
また、不要なものがないということは、掃除がしやすい理由の
ひとつです。

無垢の天板は、メラミンや人工大理石とは違い、傷や跡も味に
なっていくします。おらかな気持ちで毎日使うことそのものが、
美しい仕上げとなります。

ずっと育て続けたい、手入れし続けたいと思う家。
そんな家をつくるために、本物の木をたくさん使いました。

手入れをするとは必ず応えてくれます。
それが木の、可愛がり甲斐のあるところです。

data
敷地面積 — 283.22㎡
延床面積 — 80.00㎡
家族構成 — 夫婦、子ども
家屋竣工 — 2023年

specs
屋根 — ガルバリウム立平葺き
外壁 — ニチハ サイディング
サッシ — YKK APW330
断熱材 — グラスウール
玄関ドア — ユダ木工 木製玄関ドア
構造材 — 兵庫県産木材
床 — 杉無垢板
国産い草 藁床畳
壁天井 — 兵庫県産木材（杉・桧）
珪藻土 フラッシュクリーン

- Ⅱ型キッチンの向かいに桧の
カウンターテーブル。
子どもが勉強している様子を見ながら家事をしたいという
奥さんの子育てに対する思い。
- 木のキッチンで旦那さんが
ふるまう小鉢の盛り合わせ。
土鍋で炊いたご飯と一緒に
いただきます。
- オスモ塗装で仕上げた桧の天板。
こぼしたら拭く、の繰り返し。
そういった毎日のお手入れで、
天板はやさしくひかり続ける。

炊飯器や電子レンジは使わないので、
設置スペースもコンセントも不要。
代わりに、広い天板とたくさんの
食器が入る引き出しを設置。



周囲に馴染む外壁仕上げですが、大きなデッキが目印です。春や秋にはウッドデッキにテーブルをおいて食事をしたり、夏の日差しが強い日は、デッキの下でバーベキューをしています。洗面所は、シンプルに桧のカウンターと棚板のみ。ひとり、一つの箱に毎日使うものを入れて管理する。大容量の収納は必要ありません。

室内の仕上げは杉板と珪藻土のみ。やわらかい杉のフローリングは傷つきやすいと言われますが人や物の代わりに傷ついて、私たちを守ってくれています。



敷地に対し、少し南を意識した配置。1階、2階とも、南北の風が通り抜けるプラン。



1階平面図兼配置



2階平面図

